



# 一中だより

<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/school/daiichi/>

令和2年度 第5号  
令和2年8月25日  
磐田市立磐田第一中学校  
文責 安藤和典

## 2学期始業式 校長先生のお話 ～「思いやり」と「笑顔」を意識して～

夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。1学期の終業式で、ワンガリ・マータイさんが広めた「ハチドリのひとつずつ」という話から、「今できること」を一つずつ積み重ねていって欲しいということをお伝えしましたが、皆さんは、この夏休みをどのように過ごしたのでしょうか。

今学期も、引き続き新型コロナウイルス感染防止に向け、様々な制約の中での生活となります。「新たな生活様式」の中で、行事や各種活動が例年と同じようにできないことが多くなりますが、一中生の心を一つにして、あのハチドリのように、私たち一人一人が今できることを、今やるべきことを積み重ねていくことができる2学期にしていけたらと思っています。

このような状況の中で、またこのような時だからこそ、ぜひ皆さんに心がけて欲しいことを二つお話します。

一つは、「思いやり」です。入学式、始業式で、「人は誰もがたった一つの大切な命を持つ、かけがえのない存在です。自分自身を大切にするとともに、一人一人の気持ちを考える、見えないところまで気を配る、想像する、そんな『思いやりの心』を磨いていってください。」という内容の話をしました。思いやりの気持ちは言葉や行動に現れます。優しい気持ちから発せられる温かい言葉や行動は、受け取る人の心を温め、人間関係をより豊かにしていきます。今、新型コロナウイルスに感染された方や医療従事者の方などに対する不当な差別や偏見が社会問題となっています。誰もがもつ新型コロナウイルスに対する不安。その不安が高い、何か目に見えるものなどに原因を求める心理状態から、差別、偏見が始まると言われていますが、ぜひ皆さんの思いやりの心のこもった言葉や行動で、お互いがかもっている不安が少しでも軽減されていくことを期待しています。

もう一つは「笑顔」です。笑顔には、古くから多くの効果があるといわれています。私も、皆さんから、すてきな笑顔で、「おはようございます」「こんにちは」等の挨拶をいただくと、心が温かくなり、自然と自分自身も笑顔になっています。笑顔は人から人へ伝わり広がっていきます。温かい心のこもった笑顔は、相手をほっとさせ、その場の雰囲気をも明るくしてくれます。

笑顔の効果について、東京大学 池谷祐二氏の「脳には妙な癖がある」という本の中で、次のように述べられています。

「単なる笑顔であっても想像できないほどの可能性がある」

これは、マザー・テレサの言葉です。笑顔の効果は古くから心理学的に調べられています。楽しい感情には、問題解決を容易にしたり、記憶力を高めたり、集中力を高めたりする効果があることが報告されています。「笑う門には、福来たる」笑顔を積極的に利用することは、よりよい生き方に繋がります。

池谷氏は、さらに、笑顔に似た表情を作るだけで、愉快的気分になるという実験データがあると言っています。楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しい。つまり、笑顔という表情を作ることを通して、その行動に見合った楽しいという心理状態を脳が生み出すのだそうです。

2学期は、勉学の秋、スポーツの秋、芸術の秋等と言われる様々な実りの秋を中心とした学期であり、体育大会や合唱コンクール等の大きな行事も予定されています。3年生にとっては進路決定に向けた取組が求められる時でもありますし、1・2年生にとっても学校生活を充実させる上で大変重要な時期となります。一人一人の、そして学級の力が問われる学期にもなります。1学期に真剣に話し合っただけで決めた学級目標達成に向けて、一人一人の心を一つにして取り組んでほしいと思います。

コロナ禍の中で、様々な困難も想定されますが、下を向かず、先ほどの「思いやり」と「笑顔」を意識し、それぞれの目標に向かって、今できることを一つ一つ積み重ね、充実した2学期になることを期待して、始業式での話とします。

## 9月の予定について

- 県学力診断調査（3年） 9月2日（水）
- 校内体育大会 9月18日（金） 予備日：9月24日（木）
- 中間テスト 9月30日（水）

